



山形県感染症発生動向調査

平成30年第25週(6月18日～6月24日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2018年6月27日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1～25週
	第24週	第24週	第25週	増減	第24週	第25週	増減	第24週	第25週	増減	第24週	第25週	増減	第24週	第25週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(47)			(20)			(5)			(9)			(13)			
インフルエンザ	411 0.08																16171
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1060 0.34	6 0.20	16 0.53	△	1 0.08	8 0.62	△	1 0.33		▽	4 0.67	7 1.17	△		1 0.13	△	342
咽頭結膜熱	2628 0.83	35 1.17	43 1.43	△	14 1.08	23 1.77	▲	2 0.67	3 1.00	▲	17 ◎2.83	16 ◎2.67	▼	2 0.25	1 0.13	▽	511
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9099 2.88	99 3.30	107 3.57	△	45 3.46	57 4.38	△	1 0.33	2 0.67	△	31 ◎5.17	31 ◎5.17		22 2.75	17 2.13	▼	2948
感染性胃腸炎	20248 6.40	223 7.43	189 6.30	▼	73 5.62	64 4.92	▼	8 2.67	5 1.67	▼	70 11.67	55 9.17	▼	72 9.00	65 8.13	▽	4447
水痘	1182 0.37	20 0.67	20 0.67		4 0.31	8 0.62	△		4 1.33	△	9 1.50	5 0.83	▽	7 0.88	3 0.38	▽	364
手足口病	3897 1.23	24 0.80	31 1.03	▲	23 1.77	31 2.38	▲				1 0.17		▼				359
伝染性紅斑	712 0.23	15 0.50	35 1.17	△	1 0.08		▽				14 ◎2.33	33 ◎5.50	△		2 0.25	△	228
突発性発しん	1711 0.54	16 0.53	29 0.97	△	5 0.38	7 0.54	△	1 0.33	1 0.33		6 1.00	9 1.50	▲	4 0.50	12 1.50	△	388
ヘルパンギーナ	1545 0.49	28 0.93	36 1.20	▲	16 1.23	20 1.54	▲				11 1.83	16 2.67	△	1 0.13		▽	166
流行性耳下腺炎	567 0.18	3 0.10	5 0.17	△	1 0.08	3 0.23	▲							2 0.25	2 0.25		75
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	12 0.02																
流行性角結膜炎	701 1.00	2 0.25	4 0.50	△	2 0.50	3 0.75	△							1 0.50		△	53
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	41 0.09																20
クラミジア肺炎	3 0.01																
マイコプラズマ肺炎	66 0.14	2 0.20	3 0.30	▲	2 0.50	2 0.50						1 0.50	△				65
細菌性髄膜炎	10 0.02																5
無菌性髄膜炎	10 0.02		1 0.10	△										1 0.33		△	4

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
腸管出血性大腸菌感染症	患者	1				型別: O26 VT1
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	1				ワクチン接種歴: 不明。
百日咳	患者	3				※内、第24週追加報告 1人。 ワクチン接種歴: 4回 1人、不明: 2人。小児 1人、大人 2人。

<通信欄>

※定点医療機関数が変更になっています。(インフルエンザ定点: 48→47)
 ※トピックスで、腸管出血性大腸菌感染症、咽頭結膜熱について掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ															
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症		9	2	3	1	1									16
咽頭結膜熱		3	16	8	3	5	3	2	1			2			43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	6	13	13	15	13	12	9	4	18			107
感染性胃腸炎	2	12	28	19	21	22	13	15	8	10	9	22	4	4	189
水痘		1	1	3	3	1	2	2	4			3			20
手足口病	1		8	9	4	1	6	1						1	31
伝染性紅斑		2	1	3	2	9	1	4	5	3	5				35
突発性発しん		12	16			1									29
ヘルパンギーナ		5	7	8	4	5	3	3	1						36
流行性耳下腺炎						1	3	1							5

< 平成30年5月 月報 >

2018年6月27日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～5月
	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 14	24	7	13	5	6	2	3		2	98
	定点当り 1.40	2.40	1.75	3.25	5.00	6.00	1.00	1.50		0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 11	6	4	2	3	1	3	2	1	1	45
	定点当り 1.10	0.60	1.00	0.50	3.00	1.00	1.50	1.00	0.33	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数 3	3	1	1				1	2	1	14
	定点当り 0.30	0.30	0.25	0.25				0.50	0.67	0.33	
淋菌感染症	報告数 2	5	2	2				1		2	14
	定点当り 0.20	0.50	0.50	0.50				0.50		0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 11	7		2	2			1	9	4	36
	定点当り 1.10	0.70		0.50	2.00			0.50	3.00	1.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 18	13	11	5	1	2		1	6	5	85
	定点当り 1.80	1.30	2.75	1.25	1.00	2.00		0.50	2.00	1.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										
	定点当り										

< トピックス >

【腸管出血性大腸菌感染症情報】

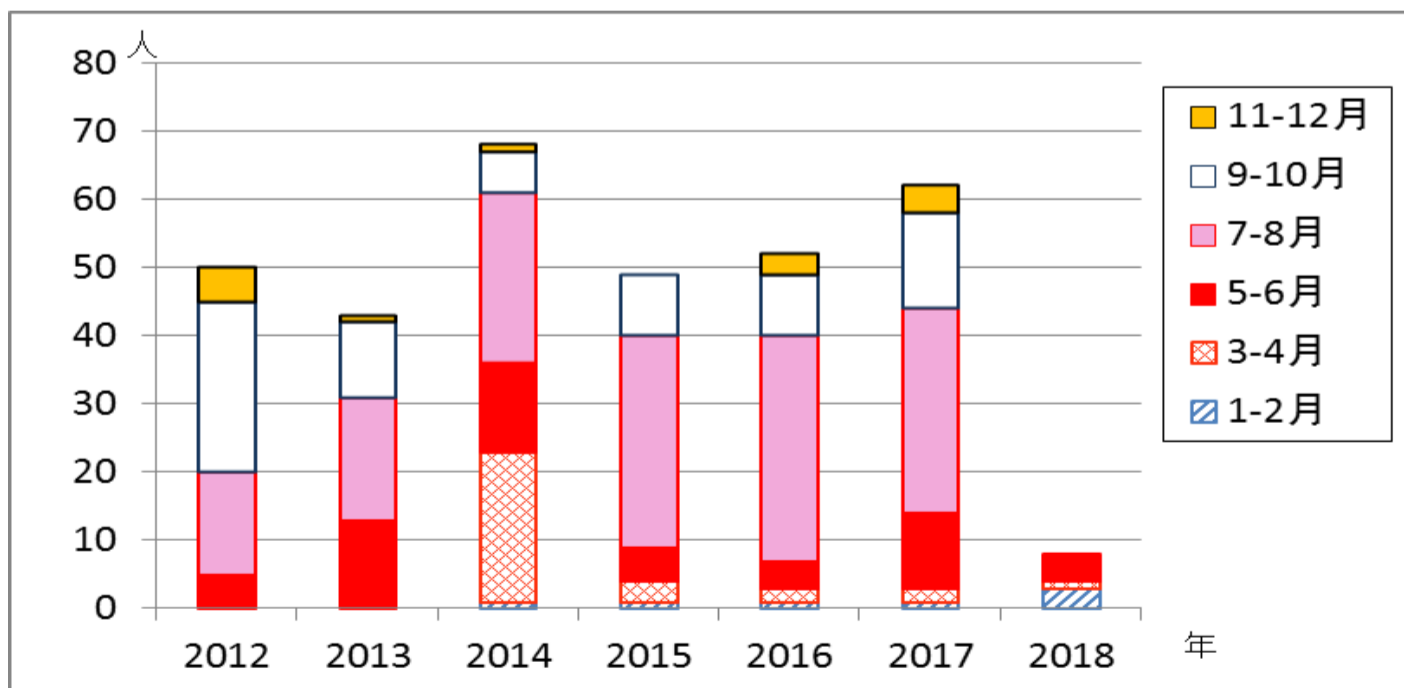
第25週に、腸管出血性大腸菌感染症の患者が1名報告されています。

1. 感染者の内訳 (平成30年第1週からの合計)

	O26	O115	O121	O157	OUT*	総計
村山地区	1	1		2	1	5
最上地区						0
置賜地区						0
庄内地区			3			3
総計	1	1	3	2	1	8

*OUT: O-antigen untypeable

2. 年間報告者数 (2018年は、第25週までの累計)



腸管出血性大腸菌感染症は夏季に多く発生します。予防のために以下のことに気をつけましょう。

- ① 菌をつけない**
手洗いを徹底し、清潔な布巾や調理器具を使いましょう。
- ② 菌を増やさない**
食品はすぐに冷蔵庫に保存し、常温に放置しないようにしましょう。
- ③ 菌をやっつける**
食品の加熱は中心まで、**75℃、1分以上**加熱しましょう。

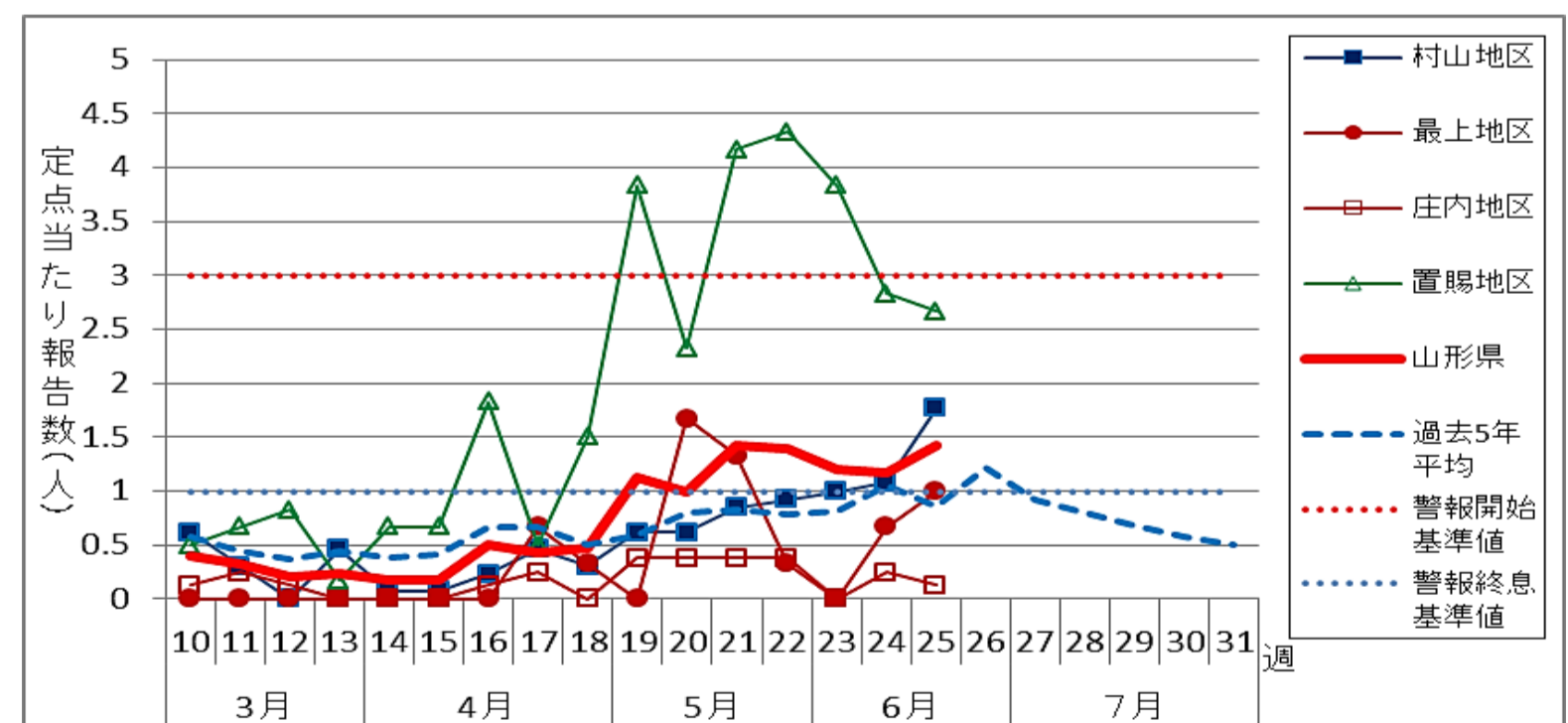


【咽頭結膜熱情報】

咽頭結膜熱の定点当たり報告数が、置賜地区で警報レベルとなっています。

・咽頭結膜熱
警報開始基準値: 3人 警報終息基準値: 1人
・第25週 定点当たり報告数 (山形県: 1.43人)
村山: 1.77人、最上: 1.00人、置賜: 2.67人、庄内: 0.13人

・定点当たり報告数の推移(山形県)



咽頭結膜熱とは

咽頭結膜熱は、アデノウイルスに感染することによっておこる小児の急性ウイルス感染症で、主な症状は、発熱、咽頭炎、眼症状です。

通常夏季に流行し、プールでの感染も多く見られることからプール熱とも呼ばれます。

《症状》

発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに 喉の痛み、結膜の充血、眼痛などを訴え、3～5日間程度持続します。

眼に永続的な障害を残すことはありません。

《予防法》

感染者との密接な接触を避け、うがいや手洗いを しっかりすることが大切です。

